

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	フランス語 I		
(副題)			
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	4		
代表曜日	火曜日	代表時限	3 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	1年前期		
必須・選択区分	選択必修		

## 担当教員

職種	氏名
教授	◎ 大谷孝行

授業の概要	フランス語が使われている国は、フランス以外にも、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカ諸国等、たくさんあります。英語以外にももう1か国語学ぶことで、あなたの視野は確実に広がるでしょう。この授業では、初めてフランス語を学ぶ人を対象に、フランス語のアルファベットからスタートし、順次フランス語の文章の仕組みを学習していきます。フランス語は発音が少し難しいので、つづりの読み方や発音の仕方には特に注意を払って勉強します。また、映像教材を見ながらフランス各地を旅して、広くフランス文化を学びます。
キーワード①	発音
キーワード②	初級文法
キーワード③	初級会話
キーワード④	フランス文化

## 到達目標

到達目標①	①フランス語の綴りを発音できる。(20%)
到達目標②	②フランス語の簡単な文章の構造を理解でき、簡単な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。(70%)
到達目標③	③フランス各地の特色（観光名所、歴史的建築物、郷土料理など）を学び、他者に説明することができる。(10%)
到達目標④	
到達目標⑤	

## 卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

## ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②

## 2. 国際人としての能力（専門性の向上）

## カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
②国際人に必要な外国語能力の向上	

## キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
◎	○			

## 教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	◎	◎			

## 授業計画表

回	(事前・事後学習時間)	(事前・事後学習)	【授業内容】
第1回	30分	[復習] アルファベを暗唱できるようにしておく。	フランス語のアルファベ フランス語のアルファベの発音を学び、自分の名前の綴りをアルファベで言ってみる。
第2回	30分	[復習] 簡単なあいさつ表現の暗唱。	会話「こんにちは」、「はじめまして」。 フランス語で簡単なあいさつをしてみる。
第3回	30分	[復習] 男性形と女性形についての復習。	名詞の性と数 名詞の男性名詞と女性名詞、単数形と複数形について。 数詞の1～10まで。
第4回	30分	[復習] 名詞の数と性に応じた冠詞の使い分けを復習しておく。	会話「切符を買う」。冠詞 不定冠詞と定冠詞について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第5回	30分	[復習] 動詞êtreの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	会話「切符を買う」。動詞êtreと強勢人称代名詞 英語のbe動詞にあたる動詞êtreについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第6回	30分	[復習] 強勢人称代名詞の種類と用法についての復習。	動詞êtreと強勢人称代名詞 動詞êtreと強勢人称代名詞を使ったやや難しい表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第7回	30分	[復習] 第1群規則動詞(er動詞)の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	会話「どこにお住まいですか？」 第1群規則動詞(er動詞)について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第8回	30分	[復習] 動詞avoirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	会話「どこにお住まいですか？」 動詞avoirについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第9回	30分	[復習] 指示形容詞の種類と用法についての復習。	指示形容詞。avoirを使った慣用表現 「この、その、あの～」という表現。 avoirを使った様々な表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第10回	30分	[復習] 否定文の作り方についての復習。	会話「小銭を持っていません」 否定文の作り方。数えられない名詞につく部分冠詞。

			授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第11回	30分	[復習] 否定文に使われるdeについての復習。	会話「小錢を持っていません」 否定文に使われるde。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第12回	30分	[復習] 所有形容詞の種類と用法についての復習。	所有形容詞。様々な否定表現 「私の～、君の～」という表現。様々な否定表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第13回	30分	[復習] 基本数詞の暗唱。	基本数詞 1～100までの数詞を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第14回	30分	[復習] 授業内容の復習。	総復習(1) これまでの授業を振返って復習をします。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
第15回	30分	[復習] 授業内容の復習。	総復習(2) これまでの授業を振返って復習をします。
第16回			中間試験

評価方法	到達目標1については、期末筆記テストで評価します。(20%) 到達目標2と3については、期末筆記テスト(80%)で評価します。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 ②社会性：40%、③専門性：60%
使用資料<テキスト>	田村弘行『フランス語でくようこそ』三修社。
使用資料<参考図書>	授業中に随時紹介します。
授業外学修等	毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。
授業外質問方法	オフィスアワー時に直接質問を受けます。
オフィス・アワー	月曜日4限、324研究室。

[ウインドウを閉じる](#)

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	世界遺産論		
(副題)			
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	木曜日	代表時限	3 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	3年前期		
必須・選択区分	選択		

## 担当教員

職種	氏名
教授	◎ 佐藤悦夫

授業の概要	2022年8月現在、世界中で1154件の物件が世界遺産として登録されています。この講義では、世界遺産の登録の仕組みや動向、日本やラテンアメリカの世界遺産の事例、日本における世界遺産の保存・活用などについて講義します。テーマによっては、学生の意見を求めて積極的に発言してください。
キーワード①	世界遺産学
キーワード②	平泉
キーワード③	五箇山
キーワード④	テオティワカン
キーワード⑤	マチュピチュ

## 到達目標

到達目標①	①世界遺産の登録のシステムや日本の世界遺産を理解できる（25%）（授業中の発言、まとめシートで評価）。
到達目標②	②ラテンアメリカを事例として世界遺産研究状況、活用の状況、認識の状況を理解できる（25%）（授業中の発言、まとめシートで評価）。
到達目標③	③世界遺産の今後の在り方を検討できる（50%）（期末レポートで評価）。
到達目標④	
到達目標⑤	

## 卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

## ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②				
3. スペシャリストとしての能力（専門性の向上）					
カリキュラムポリシー					
カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②				
⑦観光に関する専門性の向上					
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	○				
授業計画表					
回	(事前・事後学習時間)	(事前・事後学習)	【授業内容】		
第1回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	ガイダンス '15回の授業内容及び評価方法についての説明を行う。また、基本的な参考文献、最近の世界遺産に関する話題を開設する。		
第2回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	世界遺産とは何か 世界遺産の歴史、ユネスコの登録システムを理解する。		
第3回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	日本の世界遺産と登録の動向 日本の世界遺産について概観し、問題点について考察する。		
第4回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	世界遺産、平泉の保全と活用 平泉の現状と課題について検討する。		
第5回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	世界遺産、五箇山の保全と活用 五箇山の現状と課題について検討する。		
第6回	90分	[予習] 今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	日本の世界遺産のまとめとまとめシートの作成		
第7回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	メキシコの世界遺産-1 メキシコの歴史を概観し、なぜ遺跡が世界遺産に多く登録されているのかを考える。		
第8回	90分	[復習] (6) 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	メキシコの世界遺産-2 メキシコの世界遺産のビデオを見ながら、現代都市が世界遺産に登録されるのと古代都市が世界遺産に登録されるのでは何が異なるのかを考える。		
第9回	30分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	メキシコの世界遺産-3 テオティワカン遺跡の研究の状況を概観する。		
第10回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	メキシコの世界遺産-4 テオティワカン遺跡、月のピラミッドの発掘を事例に、世界遺産の価値の研究がどのように行われているのかを考える。		
第11回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	メキシコの世界遺産-5 テオティワカン遺跡のビデオをみながら、文明の起源に関する新しい知見を検討する。		
第12回	90分	[予習] 今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	ラテンアメリカのまとめとまとめシートの作成 ラテンアメリカのそれぞれの地域において、世界遺産がどのように認識されまた活用されているのかを理解する。日本との違いについて理解する。		
第13回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	ペルーの世界遺産-1 マチュピチュを事例になぜ日本人に人気があるのかを考え		

			る。
第14回	90分	[復習] 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	世界遺産学の構築 教員が考えている世界遺産学の構築について説明する。
第15回	90分	[予習] 今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	全体のまとめ 授業全体の振り返りを行い、到達目標を確認する。

評価方法	授業中の発言(30%)、まとめシート(20%)、期末レポート(50%) また、ディプロマポリシーとの関連においては、①人間性：10%、②社会性：10%、専門性：80%で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。
使用資料<テキスト>	なし
使用資料<参考図書>	授業の最初の時間にガイダンスを行い、参考図書等について説明します。
授業外学修等	世界遺産に関する新聞記事等を読んでください。また、希望者には、7月の世界遺産検定の指導を行いますので、積極的に受験してください。
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。
オフィス・アワー	火曜日 1時限 (9:30~)

[ウインドウを閉じる](#)

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	住環境デザインⅠ		
(副題)			
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	火曜日	代表時限	3 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	2年前期		
必須・選択区分	選択		

## 担当教員

職種	氏名
教授	◎ 川本聖一

授業の概要	本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザインⅠ」「住環境デザインⅡ」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。 その中で、「住環境デザインⅠ」と「住環境デザインⅡ」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人として的一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。 「住環境デザインⅠ」では、私たちの生活と住まい、インテリアコーディネート、住まいの歴史を中心に学ぶ。また、インテリアコーディネート実務者によるプレゼンテーション実習を予定している。 (担当教員：企業での実務経験豊富) (関連SDGs：目標7、目標11、目標12)
キーワード①	生活と住まい
キーワード②	色彩と造形
キーワード③	家具の設計
キーワード④	インテリアエレメント
キーワード⑤	住まいの歴史

## 到達目標

到達目標①	① 私たちの生活と住まいの関係性を説明できる。(30%)
到達目標②	② 家具、インテリアエレメントに関するデザイン基礎の基礎に関し説明できる。(30%)
到達目標③	③ 住まいの歴史の概要を説明できる。(40%)
到達目標④	
到達目標⑤	

## 卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

### ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
3. スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

### カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
⑤専門分野に共通する基礎知識の向上	

### キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
○		○		

### 教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	○				

### 授業計画表

回	(事前・事後学習時間)	(事前・事後学習)	【授業内容】
第1回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	ガイダンス
第2回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	私たちのくらし (1)
第3回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	私たちのくらし (2)
第4回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	色彩の基礎
第5回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	色彩計画と造形
第6回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	家具の種類と構造
第7回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	家具の生産
第8回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	人間工学と椅子の設計
第9回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	インテリアエレメント
第10回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	日本の住まいの歴史 (1)

第11回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	日本の住まいの歴史（2）
第12回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	インテリアコーディネート実習
第13回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	世界の住まい（1）
第14回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	世界の住まい（2）
第15回	75分	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	現代の住まい

評価方法	到達目標について、「富山国際大学成績評価基準〔全教科用〕」に従った観点から評価する。 毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」（約50%）、全員が提出すべき「必修レポート」（「復習レポート」を含む）、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」（ミニテスト以外約50%）の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。 ディプロマ・ポリシー（DP）の配分比率：人間性（20%）、社会性（10%）、専門性（70%）
使用資料<テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリントをストックできるように準備すること。
使用資料<参考図書>	授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応じて、SNS上に整理してUPする。
授業外学修等	授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。 メールアドレス : kawamoto@tuins.ac.jp
オフィス・アワー	水曜日 1時限（9:00～10:30） 研究室（439室）にて

[ウインドウを閉じる](#)



ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	住環境デザイン演習		
(副題)			
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2		
代表曜日	水曜日	代表時限	2 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	3年前期		
必須・選択区分	選択		

## 担当教員

職種	氏名
教授	◎ 川本聖一

授業の概要	本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザインⅠ」「住環境デザインⅡ」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。 その中で、「住環境デザインⅠ」と「住環境デザインⅡ」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人として的一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。2つの講義を通して学んだ知識を基本に、「住環境デザイン演習」では、研究や実務に必要なプレゼンテーション手法に関して学習する。 また、クライアントからのヒアリング能力、クライアントとのコミュニケーション能力を養う。 各課題終了時に評価会を行う。内容は、一般的な図面や絵を使ってプレゼン能力を養うものであるため、「住環境デザインⅠ・Ⅱ」を受講していなくても構わない。 単に出席していても意味がなく、各課題の提出とプレゼンテーションの実行を確実に行わなければならない。 (担当教員：企業での実務経験豊富) (関連SDGs：目標7、目標11、目標12)
キーワード①	プレゼンテーション
キーワード②	設計製図
キーワード③	C A D
キーワード④	インテリアの設計
キーワード⑤	住宅の設計

## 到達目標

到達目標①	①アパートや住宅の企画をグループ内でコミュニケーションをとりまとめることができる。(30%)
到達目標②	②アパートや住宅の要望を整理して自分の企画を立てることができる。(30%)
到達目標③	③自分が作成した企画を有効にプレゼンテーションできる。(40%)
到達目標④	
到達目標⑤	

## 卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
------	-------	-----	-------	-------	--------	---------------

### ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
3. スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

### カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
⑧環境デザインに関する専門性の向上	

### キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
◎	○	○		

### 教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	◎	○		○

### 授業計画表

回	(事前・事後学習時間)	(事前・事後学習)	【授業内容】
第1回	60分	[復習] 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	ガイダンス／用具の使用方法と線の引き方
第2回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	図面のトレースと着彩／CAD演習
第3回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	住宅平面図／CAD演習
第4回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	住宅立面図／CAD演習
第5回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	パースの作成演習1／CAD演習
第6回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	パースの作成演習2／CAD演習
第7回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	プライベートルームの企画立案（グループワーク）
第8回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	プライベートルームの設計1
第9回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	プライベートルームの設計2
第10回	240分	[予習] プライベートルームプレゼンテーションの準備 [復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	プライベートルームの設計評価会
第11回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	住宅計画の企画立案（グループワーク）
第12回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	住宅設計演習1
第13回	60分	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	住宅設計演習2

第14回	60分	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	住宅設計演習3
第15回	240分	【予習】住宅設計プレゼンテーションの準備 【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	住宅設計評価会
第16回			住宅設計評価会2（評価会未修了者、評価会欠席者対象）

評価方法	到達目標について、「富山国際大学成績評価基準〔全教科用〕」に従った観点から評価する。 作成された作品（約50%の評価）とプレゼンテーション（約50%の評価）を学生が相互に評価した結果に基づいて評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。 ディプロマ・ポリシー（DP）の配分比率：人間性（10%）、社会性（20%）、専門性（70%）
使用資料<テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリントをストックできるように準備すること。 CADを用いて図面を作成するため、原則として各自PCを持参すること。
使用資料<参考図書>	授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応じて、SNS上に整理してUPする。
授業外学修等	各課題を授業中に完成できない者は、授業以外に時間を作り課題を完成する必要がある。
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@tuins.ac.jp
オフィス・アワー	水曜日 1 時限（9:00～10:30） 研究室（439室）にて

[ウインドウを閉じる](#)



ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	情報ネットワーク論		
(副題)			
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	金曜日	代表時限	1 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	3年前期		
必須・選択区分	選択		

## 担当教員

職種	氏名
准教授	◎ 越智士郎

授業の概要	情報社会において情報ネットワークは社会的な基盤となっている。これらの情報ネットワークを支える様々な技術やプロトコルについて学習する。学習する範囲はITパスポート試験の上位試験である基本情報技術者試験の内容を含んでいる。（担当教員：企業での実務経験有り）
キーワード①	①ネットワーク
キーワード②	②コンピュータ
キーワード③	③セキュリティ

## 到達目標

到達目標①	①コンピュータネットワークが利用する技術について説明できる(30%)
到達目標②	②情報ネットワークの階層構造を説明できる(30%)
到達目標③	③インターネットの仕組みと、それを支える種々の技術について理解できる(40%)
到達目標④	
到達目標⑤	

## 卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

## ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

## カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー① ⑤専門分野に共通する基礎知識の向上	カリキュラムポリシー② ⑨経営情報に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	◎			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	○				
授業計画表					
回	(事前・事後学習時間)	(事前・事後学習)	【授業内容】		
第1回	10分	[予習] シラバスを確認する。	授業の進め方の解説 および コンピュータ・ネットワークについて		
第2回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] コンピュータ・ネットワーク発展の流れが説明できるか確認してみる。	コンピュータ・ネットワークとは		
第3回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] プロトコルとは何か、コンピュータ・ネットワークのプロトコルはどのように構成されているか説明できるか確認する。	コンピュータ・ネットワークのプロトコルとは		
第4回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] コンピュータの通信機器にどのようなものがあるか、また、その役割が説明できるか確認する。	ネットワークの構成要素、構成機器について		
第5回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] TCP/IPの成り立ちについて説明できるか確認する。	TCP/IPプロトコル基礎知識		
第6回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] TCP/IPの階層モデルを構成する層は何があるか、また、その役割の概要が説明できるか確認する。	TCP/IPの階層モデルについて		
第7回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] MACアドレスに関連するコマンドを入力し、どのような出力が得られるか確認する。	MACアドレスとイーサネットについて		
第8回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 自分が利用している無線通信を調べられるか確認する。	無線通信について		
第9回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 自分が利用している公衆アクセス網について確認する。	公衆アクセス網について		
第10回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 自分のPCのIPアドレスを確認する。また、他のウェブサーバのIPアドレスについて確認する。	IP (Internet Protocol)について		
第11回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 様々な種類のプロトコルの役割について説明できるか確認する。	IP (Internet Protocol)について関連する様々なプロトコルについて		
第12回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] TCPとUDPの違いを説明できるか確認する。また、ポート番号の役割を説明できるか確認する。	TCPとUDPIについて		
第13回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] なぜルーティングが必要か説明できるか確認する。	ルーティングプロトコルについて		
第14回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 各プロトコルがどういった用途の為のものであるか説明できるか確認する。	アプリケーションプロトコルについて		
第15回	60分	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] セキュリティを構成する要素について説明できるか確認する。	ネットワークのセキュリティについて		
第16回			期末試験		

評価方法	定期試験(40%) および各回で配布する小テスト、課題の提出(60%) 富山国際大学成績評価基準【全教科用】に従って評価する。 ディプロマポリシー：専門性 100%
使用資料<テキスト>	講義資料を配布する。
使用資料<参考図書>	竹下 隆史著：『マスタリングTCP/IP 入門編 第6版』 <a href="http://www5e.biglobe.ne.jp/aji/3min/">http://www5e.biglobe.ne.jp/aji/3min/</a>
授業外学修等	講義資料を復習することが望ましい。
授業外質問方法	情報共有ツールやメール、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。
オフィス・アワー	大学ホームページ（教員ページ）に掲載のとおり。

[ウインドウを閉じる](#)

ウインドウを閉じる

## シラバス参照

講義名	情報システム論		
(副題)			
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	木曜日	代表時限	1 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	2年前期		
必須・選択区分	専攻必修		

## 担当教員

職種	氏名
教授	◎ 新森昭宏

授業の概要	情報システム論では、国家資格である「ITパスポート試験」の「テクノロジー系」基礎理論分野を中心に「情報システム」について学習する。「テクノロジー系」技術要素分野については「情報技術論」にて、「ストラテジ系」と「マネジメント系」については「情報マネジメント論」で学習する。つまり、「情報マネジメント論」「情報システム論」「情報技術論」の3科目で、「ITパスポート試験」の受験に必要な知識を網羅することになる。 (担当教員：企業での実務経験あり)
キーワード①	離散数学
キーワード②	アルゴリズム
キーワード③	コンピュータ
キーワード④	ソフトウェア
キーワード⑤	ハードウェア

## 到達目標

到達目標①	① 「ITパスポート試験」シラバス(Ver. 6.0)の「テクノロジー系」（基礎理論、コンピュータシステム）に記載されている用語例について理解している。(40%)
到達目標②	②用語例について、具体例を挙げて説明できる。(30%)
到達目標③	③ 「ITパスポート試験」の過去問や模擬問題を、合格基準70%以上正解できる。(30%)
到達目標④	
到達目標⑤	

## 卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

## ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

## カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
⑤専門分野に共通する基礎知識の向上	⑨経営情報に関する専門性の向上

## キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
		◎		

## 教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	○				

## 授業計画表

回	(事前・事後学習時間)	(事前・事後学習)	【授業内容】
第1回	60分	[予習] シラバスを読んでおく。 [復習] 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	情報システムとは ・授業の進め方の解説 (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第2回	60分	[予習] テキスト「09-01 数値の考え方」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	基礎理論①（数値の考え方） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第3回	60分	[予習] テキスト「09-02 集合と論理演算」「09-03 データの単位」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	基礎理論②（集合と論理演算、データの単位） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第4回	60分	[予習] テキスト「09-04 データ構造」「09-05 アルゴリズムとフローチャート」「09-06 コンピュータ言語」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	基礎理論③（データ構造、アルゴリズムとフローチャート、コンピュータ言語） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第5回	60分	[予習] テキスト「09-07プログラミング①基礎知識」、「09-08 プログラミング②選択処理と繰り返し処理」、「09-09 プログラミング③関数」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	基礎理論④（プログラミング①基礎知識、プログラミング②選択処理と繰り返し処理、プログラミング③関数） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第6回	60分	[予習] テキスト「10-01 処理形態によるシステムの分類」、「10-02 利用形態やシステム構成による分類」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	コンピュータシステム①（処理形態によるシステムの分類、利用形態やシステム構成による分類） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第7回	60分	[予習] テキスト「10-03 ハードディスクの多重化」、「10-04 システムの評価指標」を読んで学習	コンピュータシステム②（ハードディスクの多重化、システムの評価指標）

		する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	(理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第8回	90分	[予習] テキスト「10-05 システムの信頼性」、「10-06 直列システムと並列システム」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	コンピュータシステム③（システムの信頼性、直列システムと並列システム） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第9回	60分	[予習] テキストを再確認し、試験準備しておく。 [復習] 中間試験結果を確認しておく。	これまでの復習と中間試験を行う。
第10回	60分	[予習] テキスト「11-01 コンピュータの種類」、「11-02 コンピュータの5つの役割」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	ハードウェア①（コンピュータの種類、コンピュータの5つの役割） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第11回	60分	[予習] テキスト「11-03 演算と制御」、「11-04 記憶」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	ハードウェア②（演算と制御、記憶） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第12回	60分	[予習] テキスト「11-05 入力と出力」、「11-06 入出力インターフェース」を読んで学習する。 [復習] 授業で学んだ練習問題を再確認しておく。	ハードウェア③（入力と出力、入出力インターフェース） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第13回	60分	[予習] テキスト「12-01 OSの役割と4つの機能」、「12-02 データ管理とファイルシステム」、「12-03 バックアップ」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	ソフトウェア①（OSの役割と4つの機能、データ管理とファイルシステム、バックアップ、アプリケーションソフトウェア） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第14回	60分	[予習] テキスト「12-04 アプリケーションソフトウェア」、「12-05 情報デザインとソフトウェアの権利」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	ソフトウェア②（アプリケーションソフトウェア、情報デザインとソフトウェアの権利） (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第15回	90分	[予習] これまでに読んできたテキストを復習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。期末試験に向けた学習を行う。	全体復習 (理解度を自己確認できるように、授業中に Microsoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)

評価方法	期末試験(80%)、各回の小テスト・課題(20%)にて評価する。 出席確認 = Microsoft Formsを使った小テストに回答することで自動確認 ⇒ 欠席が3分の1を超える学生は、評価対象外。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 ①人間性 : 10% ②社会性 : 10% ③専門性 : 80%
使用資料<テキスト>	高橋 京介著、「いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集」（令和5年[2023年]版）, SBクリエイティブ, 1,738円(税込)
使用資料<参考図書>	授業で説明に使ったスライドを配布する。
授業外学修等	・テキスト該当部分を参照し、必ず予習をすること。 ・授業で説明した内容の理解を深め、記憶を定着させるためにも復習をすること。
授業外質問方法	質問等は、メールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。
オフィス・アワー	月曜日2限、研究室



ウインドウを閉じる

シラバス参照

講義名	情報マネジメント論		
(副題)			
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2		
代表曜日	木曜日	代表時限	4 時限
校地	東黒牧キャンパス		
開講時期	2年前期		
必須・選択区分	選択		

担当教員

職種	氏名
教授	◎ 新森昭宏

授業の概要	情報マネジメント論では、国家資格である「ITパスポート試験」の「ストラテジ系」と「マネジメント系」の対象範囲を学習する。なお、「テクノロジ系」は「情報システム論」と「情報技術論」で学習する。つまり、「情報マネジメント論」「情報システム論」「情報技術論」の3科目で、「ITパスポート試験」の受験に必要な知識を網羅することになる。 (担当教員:企業での実務経験あり)
キーワード①	技術戦略
キーワード②	システム戦略
キーワード③	開発技術
キーワード④	プロジェクトマネジメント
キーワード⑤	システム監査

到達目標

到達目標①	①「ITパスポート試験」シラバス(Ver. 6.0)の「ストラテジ系」と「マネジメント系」に記載されている用語例について理解している。(40%)
到達目標②	②用語例について、具体例を挙げて説明できる。(30%)
到達目標③	③「ITパスポート試験」の過去問や模擬問題を、合格基準70%以上正解できる。(30%)
到達目標④	
到達目標⑤	

### 卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①		ディプロマポリシー②		
3. スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
<b>カリキュラムポリシー</b>				
カリキュラムポリシー①		カリキュラムポリシー②		
⑤専門分野に共通する基礎知識の向上		⑨経営情報に関する専門性の向上		
<b>キー・コンピテンシー（重視する能力）</b>				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
		◎		
<b>教授方法（授業方法）</b>				
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク
◎	○			
<b>授業計画表</b>				
回	(事前・事後学習時間)	(事前・事後学習)	【授業内容】	
第1回	60分	[予習] シラバスとテキスト「序章 ITパスポート試験の概要と効果的な学習方法」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	ITパスポート試験の概要 授業の進め方の説明	
第2回	60分	[予習] テキストの01-01から01-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	企業活動①（株式会社と経営理念、企業の責任、経営資源、経営組織） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	
第3回	60分	[予習] テキストの01-05から01-08までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	企業活動②（業務分析と業務計画、経営者の意思決定と問題解決手法、損益分岐点、財務諸表と6つの利益） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	
第4回	60分	[予習] テキストの02-01から02-03までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	法務①(3つの知的財産権、産業財産権とその他の権利、セキュリティ関連法規) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	
第5回	60分	[予習] テキストの02-04から02-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	法務②（労働関連法規と取引関連法規、その他の法律、標準化） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	
第6回	60分	[予習] テキストの03-01から03-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	経営戦略マネジメント（経営戦略とSWOT分析、PPM、経営戦略に関する重要用語、事業戦略と経営管理システム） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	
第7回	60分	[予習] テキストの04-01から04-03までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	技術戦略マネジメント①（技術開発戦略の立案・技術開発計画、ビジネスシステム、エンジニアリングシステム） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)	
第8回	60分	[予習] テキストの04-04から04-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドと	技術戦略マネジメント②(生産管理の計算問題、e-ビジネス、IoTシステム・組み込みシステム) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを	

		テキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第9回	60分	[予習] テキストの05-01から05-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	システム戦略①(情報システム戦略、業務プロセス、業務プロセスを改善する方法、ソリューションビジネス) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第10回	60分	[予習] テキストの05-05から05-08までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	システム戦略②(システムの活用促進と評価、システム企画、企画プロセスと要件定義プロセス、調達計画・実施) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第11回	60分	[予習] テキストの06-01から06-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	開発技術①(システム開発技術、システム要件定義、システム設計、プログラミング) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第12回	60分	[予習] テキストの06-05から06-07までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	開発技術②(テストとソフトウェア受入れ、運用プロセスと保守プロセス、ソフトウェアの開発モデル) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第13回	60分	[予習] テキストの07-01から07-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	プロジェクトマネジメント(プロジェクトマネジメントと3つの制約、PMBOKとは、プロジェクトスケジュールマネジメント、プロジェクト資源マネジメント、プロジェクトコミュニケーションマネジメント、プロジェクトリスクマネジメント) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第14回	60分	[予習] テキストの08-01から08-03までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	サービスマネジメントとシステム監査①(サービスマネジメントとITIL、SLMと可用性管理、サービスサポート) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第15回	60分	[予習] テキストの08-04から08-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	サービスマネジメントとシステム監査②(ファシリティマネジメント、システム監査、内部統制) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)

評価方法	期末試験(80%)、各回の課題(20%)にて評価する。 出席確認 = Microsoft Formsを使った小テストに回答することで自動確認 ⇒ 欠席が3分の1を超える学生は、評価対象外。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。  ①人間性：10% ②社会性：10% ③専門性：80%
使用資料<テキスト>	高橋 京介著、「いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集」（令和5年[2023年]版）, SBクリエイティブ, 1,738円(税込)
使用資料<参考図書>	授業で説明に使ったスライドを配布する。
授業外学修等	・テキスト該当部分を参照し、必ず予習をすること。 ・授業で説明した内容の理解を深め、記憶を定着させるためにも復習をすること。
授業外質問方法	質問等は、メールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。
オフィス・アワー	月曜日2限、研究室

[ウインドウを閉じる](#)